

ご存知  
ですか？

家計にやさしいお薬

# 「ジェネリック医薬品」

医療費が年々増加するなかで、安心して医療を受けるために、みんなで医療費を上手に節約していくことが求められています。価格が安いジェネリック医薬品（後発医薬品）を使うと、家計の負担を軽減することができ、さらに医療費を節減することができます。お医者さんや薬剤師さんと相談しながら、ジェネリック医薬品を上手に取り入れてみませんか。

## Q ジェネリック医薬品ってどういうお薬？

**A** 新薬（先発医薬品）と同等の効き目で価格は約半額です。

新薬の開発には、10～15年もの期間と、数百億円もの経費が必要とされています。また、開発メーカーが、一定期間特許に守られ製造、販売できます。特許期間が過ぎた後に、同じ有効成分でつくられ、同等の効き目の薬がジェネリック医薬品です。開発期間も3年ほどで発売できるので、経費を抑えることができ、薬の価格が安くなるのです。



## Q 安全性と品質は大丈夫？

**A** 新薬と同等と厚生労働省が認めています。

新薬は、20～25年間の特許期間中に多くの患者に使用され、成分の有効性や安全性が確認されています。ジェネリック医薬品は、新薬と同じ品質を保つことが義務付けられており、薬事法による厳しい規制のもとで、製造、販売されますので、安心して使うことができます。



## 後発医薬品 「ジェネリック医薬品」に替えると 薬代はこんなに違います。

後期高齢者医療被保険者（窓口1割負担の方）がそれぞれ代表的な薬を1日1回、1年間服用した場合の例です。

### ●高脂血症の場合



### ●高血圧症の場合



### ●糖尿病の場合

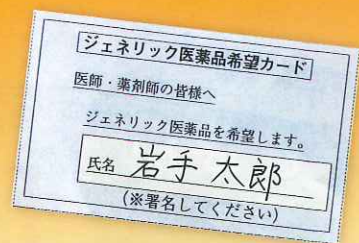


※金額は、お薬代のみを計算した場合の目安です。患者さんが窓口で負担する金額は、お薬代のほかに調剤料や処方料などが含まれた合計金額の1割または3割となります。



# お医者さんや薬剤師さんと相談しながら 上手にジェネリック医薬品を使いましょう。

相談するのが難しいときは、ジェネリック医薬品希望カードを使ってみましょう。  
カードは、被保険者証を郵送したときに同封しています。  
また、市町村の窓口にも置いています。



## 使い方

### 病院・診療所で

お医者さんに診療を受けているときに、カードを提示する

### 薬局で

薬剤師さんにカードを提示する

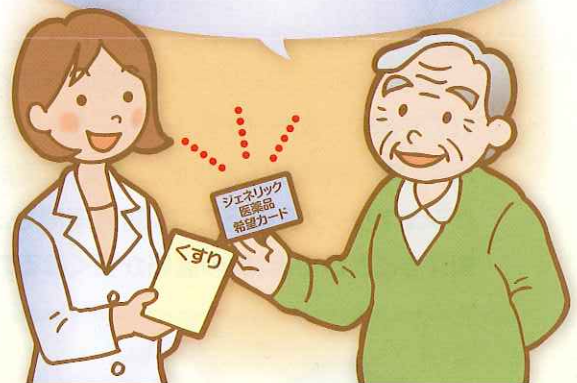
ジェネリック医薬品に替えることはできますか？



「後発医薬品への変更不可」の医師の署名がない処方せんであれば、薬剤師さんと相談してお薬を選ぶことができます。

後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更が全て不可の場合以下に署名又は記名・押印  
保険医署名

ジェネリック医薬品に切り替えると、価格や効果・副作用はどうなるの？



自分の服用する薬について、気軽に相談出来るかかりつけの薬局、薬剤師をもちましょう。

〈注意〉薬を切り替えた後は、体の変化をチェックして、何か変わったことに気づいたら、すぐに医師や薬剤師に相談しましょう。

※希望しても、対応するジェネリック医薬品が製造、販売されていないものがあります。※在庫がない場合は、お薬を用意するのに時間がかかる場合があります。

※医薬品の価格が下がっても、患者さんのご負担は新薬使用時と変わらないか、上がることがあります。薬剤師さんとよく相談してください。

## お薬の記録は「お薬手帳」に



今までに自分が使ったお薬の名前や用量、期間やアレルギー歴、既往症等を記録しておくのが「お薬手帳」です。このお薬手帳をお医者さんや薬剤師さんに見せることによって、お薬の重複や副作用、相互作用を防ぐことができます。

※お薬手帳は、かかりつけの薬局等で調剤を受けたときにもらうことができ、その都度記載してくれます。

★お医者さんにかかるときや薬局に行ったときは、**毎回お薬手帳を見せましょう。**

★薬局、薬店でお薬を買ったときも、**記録しましょう。**

★大切なお薬の記録として、**外出の時や災害時などの非常時にも携行しましょう。**